

市民文教常任委員会会議記録（概要）

平成28年9月9日（金）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○議案第79号「所沢市印鑑条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

西沢委員

議案質疑では、いくつかのコンビニでは発行できないという説明があったが、将来的に発行できるような目途は現段階であるか。

浅野市民課長

J-LISがコンビニ事業者と契約をすることになるのですが、順次拡大をしていく方向性があると聞いています。

小林委員

従来どおり印鑑登録証は発行されるのか。

浅野市民課長

印鑑登録した際に印鑑登録証を発行する業務については、変わりありません。

小林委員

コンビニで印鑑登録証明書の交付を受ける際、マイナンバーカードだけで印鑑登録証はもらえないということか。

浅野市民課長

お見込みのとおりです。

小林委員

印鑑登録証は、今後もまちづくりセンターや市民課で使えるのか。

浅野市民課長

印鑑登録証明書が必要な場合に、コンビニでとる以外は全て印鑑登録証でとっていただくことになります。まちづくりセンターや所沢駅サービスコーナー、市民課でも、それは従来と同じです。

小林委員

コンビニで印鑑登録証明書を発行する割合について、現在の印鑑登録証明書の発行件数から見て、全体の何割ぐらいと見込んでいるか。

浅野市民課長

コンビニで発行される枚数につきましては、今年度は12月からの4カ月間だけですので、印鑑登録証明書と住民票を含めて枚数で言うと3,000枚と想定しております。印鑑登録証明書と住民票は、コンビニ交付では9割を占めると言われております。現在、印鑑登録証明書の発行は年間11万枚ほどありますが、今年度は4カ月間だけということもありますので、1%強になるかと思えます。

小林委員

平成29年度からは、また新たに予算化していくということか。

浅野市民課長

お見込みのとおりです。

小林委員

今後、コンビニ交付が増加してくると、まちづくりセンターの機能はどうなっていくのか。

浅野市民課長

市民課の業務がコンビニ交付によってどのぐらい縮小されていくかについては、証明書の発行枚数やマイナンバーカードの発行枚数にもよる部分が大いいますので、マイナンバーカードの普及等も含めて市民課としては進めていきたいと考えておりますが、そのことによって、まちづくりセンターの業務が、どの時期にどうなるかということは、現段階ではまだ始まっておりませんので何とも申し上げられません。

鈴木市民部長

今後、マイナンバーカードの普及が進むにつれ、便利な使い方ということでコンビニ交付が進んでいくだろうという予測はしております。その後、利用実態の事後検証をしながら、まちづくりセンターの窓口にどのぐらい影響があらわれたかということを確認しつつ、これと併せて、将来のまちづくりセンターの機能という話も、ある程度関連して検討されるのではないかと、という先行きの見通しは持っております。

小林委員

関連してくるということは、縮小されていくかもしれないのか。

鈴木市民部長

コンビニ交付システム導入の影響が、そう簡単に数字にあらわれるものではないと予想しますが、まちづくりセンターの体制としましては、地域からのニーズも相当多様化しておりますので、それらも踏まえ総合的に、今後のまちづくりセンターのあり方を検討していくことになるかと思っています。

西沢委員

これは法定受託事務と自治事務のどちらか。

浅野市民課長

自治事務です。

西沢委員

全国的に見て、コンビニ交付をしている自治体はどのぐらいの割合か。

浅野市民課長

9月1日現在で250自治体が実施しております。8月1日現在が245自治体でしたので、少しずつ増えております。ですから、本市が開始する12月にはもう少し増えているかと思えます。

西沢委員

全国的に見ると、スピード感としては中ぐらいという感じか。

浅野市民課長

全国には約1,700の自治体がありますが、小さい町村だとコンビニがないところもあります。国等の資料によれば、平成30年ぐらいには人口の約8割がコンビニ交付できる状態になるのではないかと推定されて

いるようです。

荻野委員

マイナンバーカードの交付が始まってから従来の印鑑登録証は残るとい
うことで、マイナンバーカードの所有者はカードを2枚持つことになる。
従来の印鑑登録証の機能をマイナンバーカードの中に持たせることを、技
術的に可能かどうかという点も含めて検討しているか。

浅野市民課長

技術的には可能かもしれませんが、逆に全ての機能が一つのカードに入
ることの怖さということも、一般的には言われております。印鑑登録証明
書が市役所でもマイナンバーカードでとれてしまうということになると、
それはそれでさまざまなリスクも含めて検討しなければいけない部分
があるのかなと思います。他の健康保険証等も含めてカードの機能をどう
するのかということが、これからの検討課題かと思っています。

荻野委員

窓口で印鑑登録証明書をとる場合は従来のカードでということだが、そ
の辺が結構市民にわかりづらくなっていると思う。周知については、どの
ように考えているか。

浅野市民課長

コンビニ交付については、11月号の広報で周知をする予定です。従来
の印鑑登録証プラス、マイナンバーカードがあればコンビニでもとれます
という説明になるかと思っています。その辺も含めて、周知方法を検討したい

と思います。

石原委員

多機能端末とは、コピー機の端末のことでよいか。

浅野市民課長

いわゆるマルチコピー機で、コンビニのコピー機にいろいろな機能が付いているものの一つに、行政サービスが入るということです。

石原委員

操作方法がわからない場合、コンビニの店員が対応してくれるかと思うが、コンビニ店員の研修や教育はコンビニ側でやるのか。

浅野市民課長

お見込みのとおりです。コンビニ側が、コンビニ交付の事務を行うに当たって、J-LISと事務契約をする必要がありますので、その中で当然ながら研修等も含めて行われることになると思います。

小林委員

市民課は、現在月2回土曜開庁をしているが、コンビニ交付が始まれば開庁しなくてもよいと考えているか。

浅野市民課長

コンビニ交付の業務について、全ての証明書がとれるというわけではないので、その辺はどのぐらい業務量が縮小されていくのかも含めて、精査が必要かと思います。また、市民課の業務としてはパスポート等もやっており、コンビニ交付できない業務については引き続きやる必要があると思

います。それから、市民課だけが土曜開庁を行っているわけではありませ
んの、その辺りも精査しながらということになると思います。

小林委員

今後も月2回の土曜開庁は行うということか。

浅野市民課長

土曜開庁については、経営企画課で全庁的に想定して実施しております
ので、市民課だけでどうするということにはならないと思います。

小林委員

マイナンバーカードがあれば、24時間、365日、コンビニで証明書
を発行できるとなると、ホストコンピューター等も同様に稼働していくこ
とになるのか。

浅野市民課長

コンビニ交付については、午前6時半から午後11時までということが
全国的に決まっております。また、年末年始はできないということもあり
ますので、その辺のメンテナンス等については、残りの時間になると思
います。

【質疑終結】

【意 見】

小林委員

日本共産党所沢市議団を代表して反対の立場から意見を申し上げます。
マイナンバーカードを使ってコンビニに設置された多機能端末機で印鑑
登録証明書を今年の12月1日から交付できるようにするというこ

すが、印鑑登録証明書の発行は年間11万枚ということであり、一般的には印鑑登録証明書というものは1人の人が一生のうちで何回も取るものではありません。必要性ということでは、市民に大変便利だと喜ばれるものではないのではないかと思います。それよりも、コンビニという空間の中で多機能端末機を使って、操作もわからない中で店員の方を呼んだりあるとか、そのままマイナンバーカードを置き忘れてしまうことも起こり得るわけで、情報漏えいの危険などのほうが大きいことから反対いたします。

入沢委員

自由民主党・無所属の会を代表して賛成の立場から意見を申し上げます。マイナンバーカードについては、当初想定されていた以上の枚数が発行されており、かなり市民権を得ていると考えます。まちづくりセンターが開いていない時間でも、住民票や印鑑登録証明書が交付されるということで、非常に市民サービスの利便性が高まるということが予想されます。また、先ほどからまちづくりセンターの議論がなされておりますけれども、まちづくりセンターの業務に関しても少なからず影響すると思いますので、今後その辺のことについても研究していただきたいと思います。

【意見終結】

【採 決】

議案第79号については、挙手多数により、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第80号「所沢市民文化センターの指定管理者の指定について」

西沢委員 議案第80号については、参考人として所沢市民文化センターミュージアの神木事務局長をお呼びし、話を聞きたいと思う。

入沢委員 ミューズの事務局長を呼んで質疑をしたいということだが、その方に来ていただかないと審査ができないということか。

西沢委員 ミューズの職員の方にミュージアの話を知るとすれば、事務局長が一番参考人としてはふさわしいということです。

石原委員 通常の審査の過程として、今日執行部に対して質疑を行い、それでもなおミュージアの職員から意見を聞く必要が生じるのであれば、参考人招致はやぶさかではない。まず、通常の手続きとして、審査をした上で検討されるべき問題ではないかと思う。

休 憩（午前9時20分）

（協議会を開き、参考人招致について協議を行った。）

再 開（午前9時38分）

石本委員長 議案第80号については、地方自治法第109条第5項の規定に基づ

き、参考人として所沢市民文化センターミュージズの神木事務局長の出席を
求め意見を伺いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員了承)

それでは本日の審査はここまでとし、委員会予備日である9月23日の
9時より、引き続き審査をすることによろしいでしょうか。

(委員了承)

○議案第81号「新所沢駅東口第1自転車駐車場等の指定管理者の指定について」

○議案第82号「所沢駅東口第1自転車駐車場等の指定管理者の指定について」

○議案第83号「新所沢駅西口第3自転車駐車場の指定管理者の指定について」

石本委員長

ここでお諮りします。議案第81号「新所沢駅東口第1自転車駐車場等の指定管理者の指定について」、議案第82号「所沢駅東口第1自転車駐車場等の指定管理者の指定について」及び議案第83号「新所沢駅西口第3自転車駐車場の指定管理者の指定について」は、関連しておりますので一括議題としてよろしいでしょうか。

(委員了承)

【補足説明】

鈴木市民部長

昨日の議案質疑の中で7番議員からの御質疑に対し、委員会での答弁という形にさせていただいた部分がありますので、御説明させていただきます。

鹿島市民部次
長

昨日、平井議員から質疑のあった件ですが、前置きといたしまして公益社団法人シルバー人材センターの理事が、指定管理者に選定されたサイカ・サンサイクル所沢共同体の構成団体でありますサンサイクルシステ

ム株式会社の代表取締役を兼務しておりましたけれども、現在はシルバー人材センターの理事を退任したと聞いておりますというのが前段階にあり、その後に質問は2点ありました。1点目がシルバー人材センター在籍中に培った自転車駐車場の管理に係るノウハウをサイカ・サンサイクル所沢共同体に教授したのではないかとということと、2点目がサンサイクルシステム株式会社の代表取締役が公益社団法人シルバー人材センターの理事を退任した時期と指定管理者について申請した時期と正当性があるのかどうか、この2点ということで理解をしております。初めに、シルバー人材センター在籍中に培ったノウハウを、今回指定管理者となったサイカ・サンサイクル所沢共同体に教授したのではないかとという質問ですが、サンサイクルシステム株式会社は、創業から30年間自転車駐車場の保守、管理、運営を主な業務として実績を上げている会社であります。そういった意味から、シルバー人材センターから自転車駐車場の管理、運営に係るノウハウを伝授したとは考えにくいと思われれます。2点目のシルバー人材センターの理事を退任した時期と指定管理者について申請した時期に、正当性が確保されているのかどうかという質問ですが、サンサイクルシステム株式会社の代表取締役はシルバー人材センターの理事として名を連ねていたということは確認しておりますけれども、当該人物は今年の6月7日に開かれたシルバー人材センターの総会の承認をもって理事を退任しており、サイカ・サンサイクル所沢共同体とシルバー人材センターが今回の自転車駐車場の指定管理の申請をしたのが6月10日というこ

とで、申請があった時点ではすでにこの方はシルバー人材センターの理事ではありませんでした。こうしたことから、今回の申請につきましては正当であると考えております。

【質 疑】

西沢委員

昨日の議案質疑で、パルコを除いて6区分を2区分に変えた理由として、経営の平準化と地域的な問題、借地の問題と説明していたが、この自転車駐車場の中で借地のところはどこか。

田中交通安全
課長

借地料を払っている自転車駐車場は、所沢駅東口第1自転車駐車場、所沢駅東口第2自転車駐車場、新所沢駅東口第1自転車駐車場、西所沢駅第1自転車駐車場、西所沢駅第2自転車駐車場、下山口駅第2自転車駐車場、下山口駅第3自転車駐車場、新所沢駅西口第4自転車駐車場、所沢駅西口第1自転車駐車場、新所沢駅西口第1自転車駐車場、西所沢駅第3自転車駐車場、下山口駅第1自転車駐車場、小手指駅北口第3自転車駐車場となります。

西沢委員

半分ぐらいが借地で駐車場の管理をしているが、昨日の議案質疑でも、相続の問題等が発生して返してくれなどの話が出る可能性もあるということだった。指定管理期間は、そういった問題が発生しないような地権者との話し合いや契約になっていないのか。

田中交通安全課長 借地の契約については、できる限り5年間の指定管理期間中はということとお願いはしております。ただ、地主側といたしますと、今の時代、地価の変動があり得るということで、なかなか御承諾いただけなくて、2年間から3年間というのが多いです。

西沢委員 途中でそういった問題が発生した場合、委託していた事業者にはどういう対応をするのか。

田中交通安全課長 その場合は、常に地主とは連絡をとっていきまして、解約する半年ぐらい前から連絡をいただいて、相続等による返却でどうしてもそこを閉鎖するような話になりましたら、固定納付金の減額及び代替地を当課で考えまして、駐車場を確保するという形で対応していきたいと考えております。

小林委員 先ほどのシルバー人材センターとサイカ・サンサイクル所沢共同体の問題について、指定管理者の募集の周知は5月1日に行われ、募集期間は5月30日から6月10日までとある。6月7日に退任したということだが、募集期間中、シルバー人材センターの理事とサイカ・サンサイクル所沢共同体の代表取締役の両方を兼ねていたということか。

田中交通安全課長 確かに、募集期間中に当該理事がシルバー人材センターにいた可能性はあります。ただ、補足をいたしますと、7月6日に第2回選定委員会が開

かれ、それぞれの団体にヒアリングを行う前に、ある委員からこの旨の指摘がありまして、今回の申請の欠格性について議論が交わされました。現在の所沢市の指定管理者の欠格要件につきましては、極端に言いますとA社とB社の代表権を共にある人が申請を行ったとしても、これについては何ら問題なく、有効であるとされています。と申しますのも、入札のような形になりますと、例えばAさんという方がいて、甲という会社と乙という会社がありまして、このAさんが甲と乙の理事だった場合、この2者による入札となった際に、甲は入札額を1,000万円とし、Aさんが乙に1,500万円の入札した方がよいと言うと、当然乙が落ちて甲が落札することになります。こういう形があるので、市町村によっては欠格事項として入札は受け付けないということですが、今回の指定管理者の選定という制度は、選定委員の皆さんが市民サービスの向上や経費の縮減といった観点からどちらが適正かということで選定しますので、今回の申請に対しては欠格事項に当たらないと判断しました。また、所管課にも確認をとりヒアリングに臨みました。

小林委員

指定管理に応募してきた会社の代表がいずれも同じ人物だった場合、必ずどれかがとれることになる。そうすると、指定管理の選定とは何なのかということになるが、いかがか。

田中交通安全

我々としましては、申請してきた中で一番よい団体に所沢市の自転車駐

課長 車場の管理をお任せしたいということですので、申請の欠格事項に当たらないことはもとより、特に今回はヒアリングをする段階で理事ではなかったもので、そういったところを鑑みて選定が行われました。

西沢委員 指定管理者の選定をする際の基礎資料として、サンサイクルシステム株式会社の代表取締役が、かつてシルバー人材センターの理事であったという資料はあったのか。

田中交通安全課長 申請段階ではありました。そのときに委員から御指摘があり、調査したものです。

西沢委員 この方は、シルバー人材センターの理事のときも、サンサイクルシステム株式会社の代表取締役を兼務していたのか。

田中交通安全課長 お見込みのとおりです。

西沢委員 サイカ・サンサイクル所沢共同体が今後指定管理をしていくが、そこで働く人はこういった形で採用されるのか。

田中交通安全課長 サイカパーキング株式会社には、現在6区分と7区分を受けていただい

課長

ております。今回の区分についてはそのまま受けられますが、約1万4,000台収容する大きな施設ですので、付帯意見にも付けていますが、就労機会の少ない高齢者、今までそこで働いていた皆さんを優先して雇用していただけないかというお願いをしていこうと思っています。

西沢委員

シルバー人材センターに再委託するのか、それともサイカ・サンサイクル所沢共同体が直接雇用するか、どういう形態になるのか。

田中交通安全
課長

両方あると思います。これから、これだけの人員を確保しなければならぬ中で、直接雇用ということもあり得るでしょうし、駐車場自体の管理は整理員と受付をする管理員で分かれておりますので、例えばシルバー人材センターのそもそもの会員の目的が、臨時的で短期的でなおかつ簡易なものということなので、例えば駐車場の中でも整理員という形で自転車を整理していただく簡単な業務などを、一括してシルバー人材センターに再委託するようなこともあり得ると思います。

西沢委員

直接雇用の場合は、シルバー人材センターの会員をやめる必要があるのか。

田中交通安全
課長

これについては確認しておりません。ただ、シルバー人材センターの会員の中にも、会員の業務をやりながら、他の近くの駐車場の草むしりをし

でお金をいただいているという方もいますので、個々の会員の判断の中で、直接になるのか、シルバー人材センターを経由してなのか考えられていくのではないかと思います。

西沢委員

市として、なるべくシルバー人材センターの会員を使ってもらいたいといった意見は付けてないのか。

鈴木市民部長

選定報告書にありますことは、参考資料ナンバー2の会議録にございますように、実際には選任された委員相互の意見交換で、必要性に応じて記載されているものですが、最大尊重する意見として、言わば審議会の答申的なものをいただいて、それを踏まえた中で市としてどう判断するかということです。今回、付帯された意見の中ではある種断定的にシルバー人材センターに雇用をとというような意見が付されたわけではなかったわけです。市といたしましても、シルバー人材センターが、地域の高齢者雇用に関し、非常に有力な法人であるという認識はございますが、市も同様にそこに限定した話というよりは、むしろ今後の高齢化社会における雇用政策という意味での重要性という観点から、大切な要素であると捉えていますから、やはりそこに限定はしていないわけです。

石本委員

パルコの地下の自転車駐車場が市の施設になった経緯を伺いたい。

田中交通安全課長 昭和50年代にパルコが建設されたときに、真ん中に市道が入っていました。今は二つの施設の真ん中に吹き抜けの通路がありますが、その通路の下が道路敷きであったと聞いております。それを、所沢市としては無料で使っているため、その代わり地下1階と地下2階の自転車駐車を区分所有としていただいたということでもあります。ただ、真ん中の道路もいまだに市としては所有権を維持していると確認しております。

石本委員 大手百貨店が駅前から撤退する事態が次々と起きている中で、仮にパルコが指定管理期間中に撤退することになった場合、地下の自転車駐車場はどのような契約形態で残すのか。

田中交通安全課長 これについては、所管は管財課になります。我々はそれを受けて施設を管理しているため、その辺のところはつかんでおりません。

小林委員 パルコの地下の自転車駐車場は月極利用者が多いと聞いたが、利用率は何%ぐらいか。

田中交通安全課長 新所沢駅西口第3自転車駐車場の収容能力は816台です。収容台数は現在727台で利用率は89.1%となっております。

小林委員 727台のうち月極利用者はどのぐらいか。

田中交通安全課長 定期利用できる台数は816台中746台となっております。従いまして、残りの70台が一時利用ということで地下1階に設置してあります。

小林委員 一時利用者の利用率はわかるか。

田中交通安全課長 現在、手元にデータがありません。

小林委員 買い物客は、パルコの地下の自転車駐車を有料にしてから、パルコが地上に設けている無料の駐輪場を利用している。駅前で買い物するにも非常に利便性が高いが、地下の自転車駐車は赤字である。パルコの集客等を鑑みて、この自転車駐車を再び無料にする考えはないか。

田中交通安全課長 パルコ側と直接お話しはしておりませんが、委員御案内のとおり、西側にパルコの利用客用に3時間まで無料の駐輪場を設けておりまして、買い物客に対するパルコなりのサービスをしておられます。

大石委員 新所沢駅西口第1自転車駐車場については、西武鉄道株式会社から土地を賃借しているが、借料はないということを確認したい。また、新所沢駅西口第4自転車駐車場については、1年契約でいつ契約が解除されるかわ

からない状態であるということでもいいか。この他に、現在借りている中で借料がないところがあるか確認したい。

田中交通安全
課長

委員御案内のとおり、新所沢駅西口第1自転車駐車場については線路沿いでして、西武鉄道株式会社から無償でお借りして、その代わりに固定資産税の減免をしております。また、新所沢駅西口第4自転車駐車場は、株式会社西武プロパティーズと1年契約をしています。また、西武鉄道からはこの他に所沢駅西口第1自転車駐車場、西所沢駅第3自転車駐車場、下山口駅第1自転車駐車場、小手指駅北口第3自転車駐車場を無償でお借りし、固定資産税の減免をしております。

石原委員

新所沢駅西口第3自転車駐車場について、パルコ館とレッツ館の間の道が市道のままということだが、例えばそこに生じている凹凸にパルコのお客さんがつまずいて、怪我を負ってしまったときの賠償責任は誰に帰属するのか。

田中交通安全
課長

これについては、所管が管財課となります。当課はあくまで地下1階と地下2階の用地を借りて運営をしている次第で、こういった対応をしているかは不明です。

小林委員

サイカ・サンサイクル所沢共同体がシルバー人材センターに再委託す

る場合、2者は指定管理委託の選定で競合していたが、問題ないのか。

田中交通安全
課長

再委託については、業務の全てを丸投げしてしまうことは禁止されておりますが、業務の一部については市の承認を得て再委託可能です。先ほど申しあげましたシルバー人材センターの会員が短期的で臨時的でなおかつ簡易な業務を請け負えるという趣旨を踏まえた中で再委託の提案があった場合、承認する予定です。ただこれは、あくまでもサイカ・サンサイクル所沢共同体とシルバー人材センターとの問題ですので、市としては特にこれをしなさいということとは言えません。

小林委員

サイカ・サンサイクル所沢共同体がシルバー人材センターから人材を確保する場合、シルバー人材センターは職業紹介みたいな業務があるが、そういった中での紹介になるのか。それとも、シルバー人材センター自体が再委託を受託するのか。

鈴木市民部長

方法はいろいろあると思います。最終的には、「自転車駐車を管理する人をどう確保するか」ということなので、サイカ・サンサイクル所沢共同体が自らの雇用体制の人員を振り分ける方法もございしますが、実際には相当の雇用規模なので地元の人材で調達する方法を考えていくことが十分想定されます。市としては、付帯意見の中で高齢者の雇用について最大限尊重、考慮し、しかも継続性を重んじてください、と申しあげておりま

すので、その制約の中でお考えになるかと思えます。

小林委員

今回、指定管理区分を大きく分けている。これまでは、小さく区分していたので多くの受託事業者があったが、区分が大きくなることによって、大きな事業者でなければ受けられないということになるのではないか。なぜ区分を変更したのか。

田中交通安全
課長

今回の区分編成については、前回説明したとおり、市全体の利用料金の収益が減少しております。現在、7区分で管理していますが、そのうち6番目と7番目の区分については、サイカパーキング株式会社に2年間と1年間ということでやっていただいておりますが、6区分の狭山ヶ丘駅東口第1自転車駐車場については管理委託料を支払っております。逆に、7区分は黒字になるので固定納付をいただいております。つまり、細分化すればするほど、区域によっては赤字が出てきて、市から管理委託料を払わなければならない区分が出てくるのが懸念されております。そういうことから、市としてはできるだけスケールメリットを生かし、経費の縮減を図り、固定納付金をいただいて運営していただけるということを考えました。仮に3区分にいたしますと、駐輪場の数が合わなくなりますし、収益もバランスがばらばらになってきます。そうなりますと、申請してもらえない区分とももらえない区分があるのではないかという懸念があったことから、今回は2区分、それぞれ14施設ずつということでお願いしたもので

す。

小林委員

固定納付をしてもらうことが大きな部分とすれば、現行の指定管理者が固定納付の点では1位になっている。これは、市の意向を強く反映されなかったのか。

鈴木市民部長

質疑にあったかと思いますが、固定納付金という収益の還元は、確かに一つの大きな要件でございます。ただ、今回は総じて、個別、独自提案の中で、「コールセンター」や「防犯カメラ」、「試験的な自転車機械式ラックの導入」といった申し出があり、こうした独自事業への投資額と固定納付金額を総合的に勘案すると、結果的にこれは今年度の市の当初予算のキャッチコピーである「人にも街にもあつい『ハート&ハード』」の考え方に馴染むこれからの所沢市に貢献し得るもの、と考えております。特にこうしたことを申し上げたわけではありませんが、そういう意味での委員の総合的な御判断があったのではないかと考えております。

小林委員

受託事業者が取り付けた防犯カメラ等の機械設備について、指定管理期間が終わり次の受託事業者が入る場合、今までの機器は取り外され新しい受託事業者がまた新たに設置することになるのか。

田中交通安全

電磁ロック式の機械などを導入した場合、5年後に指定管理者が変わっ

課長 た場合でも、無償で市に譲渡され、引き継いで使わせていただけることになっております。

小林委員 市が引き継いだ機械は、市の委託料で賄われるのか。

田中交通安全課長 指定管理期間中の維持費については指定管理者が支払うことになりませんが、指定管理者が変わった場合には、次の指定管理者が保守点検を実施する等、維持管理していくこととなります。

小林委員 次に指定管理を受託する事業者が支払うということか。

田中交通安全課長 お見込みのとおりです。

【質疑終結】

【意見】

小林委員 日本共産党所沢市議団を代表して、反対ではありませんが意見を申し上げます。自転車駐車を細分化することによって、小さな事業所や地元の雇用を促進するという側面があったかと思います。地元雇用促進の一環として、高齢者の継続雇用に配慮という附帯意見もありましたけれども、シルバー人材センターの活用をもっと検討していくことや議案第83号につきましては、パルコの地下自転車駐車場は当初無料で買い物をしてすぐ

に自転車に載せることができました。買い物客サービスで、一時利用者は無料にすることを求めたいと思います。以上、賛成ですが意見を付します。

【意見終結】

【採 決】

議案第81号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第82号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第83号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第74号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第3号）」

当委員会所管部分（市民部）

【補足説明】なし

【質 疑】

大石委員

今回の台風9号で市内では水害が起きた。この場所は近くに水路があるが、県道所沢武蔵村山立川線によって水路が非常に狭くなるところで、過去には水害が発生している。この場所の水害発生に対する経緯と配慮について伺いたい。

田中交通安全
課長

台風9号の影響について道路維持課と河川課に確認しましたところ、今回の設計場所となるところについては、特に被害を受けた、苦情をいただいたということはありません。この場所には南側に水路がありますが、平成22年頃にそれまでオープンだった水路を造成に伴って管に替えたことで、平成22年の大雨で溢れてしまい水害が発生したということとあります。それを受けまして、河川課では平成23年度に改修工事を行い、管を上下2段にしまして、その上にU字溝を設ける3段構えにしたということです。最初に下の管、溢れてきたら上の管、最後が一番上のU字溝に流れ込みまして、また管についても県道を渡って向こうに行くものと道路の下に柵がありそこに落ち込むような形をとって対応しているとのことから、現在この場所については水害の苦情はないとのことでした。

大石委員

市民サービス業務所沢駅ビル移設事業について、議案質疑の中でパスポートセンターや窓口業務のために行うと説明があったが、こういった所沢駅という非常に利便性のいい場所には、観光機能やクールジャパンフォレスト構想と連携していく機能が必要だと思うが、そういったことについて議論はされているのでしょうか。

浅野市民課長

駅サービスコーナーとパスポートセンターが市民課の所管として、今回駅ビルに入るようになっておりますが、それ以前には産業経済部の機能も駅ビルに入る希望があったようです。ただ、スペース等の関係で撤退する形になりましたが、観光案内等についてもどこかで何らかの機能を持ちたいという話を産業経済部としてもされているようでして、その辺りの調整については経営企画課でされるのかなと思います。

大石委員

市民部としても音楽のあるまちづくりを推進していくために、ミュージアのチケットをこの場所で販売するであるとか、まちづくりセンターの所管になるが中央公民館、松井公民館、小手指公民館分館、新所沢公民館などは駅から近く、非常に立派なホールを持っており有効活用されていることから、ここで行われるイベントのチケットを販売するといったことに取り組めるのではないかと思うが、そういった議論はされているか。

浅野市民課長

市民課としては、どのような業務を新たな場所で行えるのかという議論

はいろいろ行ってきましたが、市民課として何ができるかということと全庁、市民部として何ができるかということは検討しなければいけないかなとは思っています。

鈴木市民部長

今、文化芸術振興課でも有力なブランディング活動として「音楽のあるまちづくり」を進めておりますので、駅ビルでチケットの販売ができれば、当然PRの効果も期待できると思いますが、技術的な面での問題もかなりありますことから、今後御指摘いただいた点も考慮しながら、できることを検討してまいりたいと思います。

大石委員

まちづくりセンターにおける各種証明書の発行枚数から言えば、所沢駅サービスコーナーは非常に発行枚数が多い場所である。マイナンバー制度によってコンビニで交付されるようになったとしても、この駅については非常に利便性が高いことから、例えば時間を延長したりすることも市民サービスの向上につながるのではないかと思うが、このようなことは検討されているか。

浅野市民課長

現在、駅サービスコーナーは夜7時まで開いております、これは引き続きやっていくことになるのかなと思います。ただ、それ以上に広げることであれば、体制をどうするのかということが問われてきますので、その辺りがどうなっていくかということにかかっております。こちら

としましては、体制を整えば業務を広げていくということもありかなと思います。

荻野委員

今回は内装工事の設計委託料で、平成29年度は内装工事と移設準備ということだが、その辺の費用はどのぐらいかかるのか。

浅野市民課長

設計の後、工事費用がかかってくるということがありますので、総額は今のところ出ておりません。それ以外の賃借料等につきましては、今も駅サービスコーナーはかかっておりますし、共益費がかかる部分がありますが、それについては面積按分になるということは想定されます。それから、今度は駅ビルの4階に移るということで新たな負担があるのか、テナントとして工事をする中で工事費以外のものがどのぐらいかかるのかということについては、現在経営企画課と株式会社西武プロパティーズとで調整していただいております。

荻野委員

それについては、平成29年度の当初予算で出てくるということか。

浅野市民課長

そのとおりです。

植竹委員

現在、パスポートセンターは庁舎1階にあるが、移設した後のスペースについて方向性は決まっているのか。

浅野市民課長

庁内の事務スペースの割り振りは経営企画課で行っておりまして、移設した後どうなるかということについて、直接は聞いておりません。

小林委員

所沢駅東口駅ビル内にできる施設は、今よりもスペースは広くなるということでいいか。

浅野市民課長

現在ある所沢駅サービスコーナーは約80平米ですが、新しいところは約250平米と聞いております。

小林委員

職員の配置について現在は何名か。また、新しくなったら人員をふやすのか。

浅野市民課長

現在、パスポートセンターは正規職員が2名、臨時職員が1名で駅サービスコーナーは正規職員が4名という体制になっております。こちらとしてはパスポート業務については少なくとも増員の要望をしていきたいと思っておりますが、経営企画課が定数の管理をしておりますので、実際の定数がどうなるかというのはなかなかわかりにくいところがあります。

石本委員長

質疑の途中だが、議案第74号当委員会所管部分市民部所管部分については、議案第80号と関連しているため、本日の審査はここまでとし、委

員会審査予備日である9月23日午前9時より、引き続き審査を行うこと
でよろしいでしょうか。

(委員了承)

休 憩 (午前10時34分)

(説明員交代)

再 開 (午前10時50分)

○議案第 87 号「所沢市立所沢図書館所沢分館等の指定管理者の指定について」

○議案第 88 号「所沢市立所沢図書館新所沢分館等の指定管理者の指定について」

石本委員長

ここでお諮りします。議案第 87 号「所沢市立所沢図書館所沢分館等の指定管理者の指定について」及び議案第 88 号「所沢市立所沢図書館新所沢分館等の指定管理者の指定について」は、関連しておりますので一括議題としてよろしいでしょうか。

(委員了承)

審査に先立って、追加資料の提出を求めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員了承)

この資料につきましては、後ほど全議員へ配付いたします。

【補足説明】 な し

【質 疑】

石原委員

指定管理になって 4 年が経過したが、期間中の導入効果について伺いたい。

中村所沢図書館長

指定管理者導入後は、本館を含む全ての図書館で祝・休日開館が実現し、開館日数が 14 日ほどふえております。所沢分館と新所沢分館では、

平日の開館時間延長が実現しております。また、民間のノウハウを活用したさまざまな自主事業が可能になりまして、地域との連携事業も活発に行われています。行事数・行事参加者数については、平成23年度は全館合計で409回だった行事数が、27年度は692回までふえております。また、23年度は7,348人だった行事参加者数も27年度は1万8,040人と増加しております。さらに、23年度には全体で157万冊だった貸出冊数が、24年度には新所沢分館開館の効果もあって170万冊に増加しております。蔵書冊数につきましても、23年度は89万冊だったものが26年度は96万冊、27年度は97万冊と増加しております。また、分館の司書率につきましても、向上しております。本館は50%台と低くなりますが、これは庶務業務に当たる職員を含むためであり、図書館業務を担当する職員の司書率は66%となっており、全館で見ますと70%を超えておりますので、高い専門性を有する職員が大半ということになったかと思っております。以上のことから、所沢市立所沢図書館における分館への指定管理者制度の導入については、十分に効果があったと考えております。

石原委員

利用者の方の声はどういった方法でとっているのか。また、それを検証した結果はどうなったか。

中村所沢図書

利用者の皆様の声につきましては、利用者アンケートの実施や利用者懇

館長

談会を開催しまして伺っております。利用者アンケートにつきましては、毎年度行っておりまして昨年度は80%の方から好意的な回答をいただいております。特に分館でいただいている具体的な声といたしましては、てきぱきしているとか笑顔がいいとか、そういった雰囲気の部分の評価をいただいております。ご案内の方法につきましても丁寧であるという声をいただいております。

小林委員

図書購入費について、指定管理の効果でぐっとふえてもいいのではないかと考えるが、500万円から600万円の増加にとどまっている。そのことについては、どう考えているのか。

中村所沢図書

図書購入費につきましては、22年度は4,800万円とかなり少ない

館長

額でした。ここ数年は5,500万円、5,600万円となっており、市の財政が厳しい中でこれだけの数字を維持できているというのは、効果があったものと思っております。蔵書も順調にふえておりますので、私どもとしてはよかったと思っております。

小林委員

このまま5,500万円で推移するのか。ふやすことは考えていないのか。

中村所沢図書

現時点では100万冊の図書館を目指しておりますので、それに見合っ

館長

た金額を計上していきたいと考えております。

西沢委員

7分館を2グループに分けたのは、競合してより高水準のサービスを提案できる場所を選択したいということだったが、結果的には1社が両方委託される形になった。実質的には、2グループに分けた意味合いがなくなってしまったのではないかという印象を受けるが、この点について担当課としてはどのような見解をお持ちか。

中村所沢図書

館長

2グループに分けた経緯につきましては、委員御案内のとおり競合という面もありますが、所沢市の図書館は規模が大きく、7館全てをどこかの会社にとということになりますと参加できる会社数が減ってしまうという懸念がありました。今回につきましても、2グループに分けたことで規模の小さい会社で構成された共同事業体の参加がありましたので、さまざまな規模の企業・団体から応募をいただくために2グループに分けるといのは、効果があり一定の意味合いはあったと考えております。

西沢委員

結果的には、今後1社で7館を見ていくことになる。逆に言うと、7館を1社で見たほうが、より効率的な運営とサービスの提供ができるのではないか。

中村所沢図書

確かに、1社のほうが現場の指揮系統やスケールメリットの問題もあ

館長

り、管理の面ではやりやすいかと思います。ただ、2社に分けることによって、その会社が持っていないノウハウが入ってくるという利点もありますので、そこはなかなか難しいところで、バランスの問題かと思っております。

入沢委員

タブレットPCを電子掲示板として館内設置とあるが、どれぐらい設置するのか詳細がわかれば伺いたい。

中村所沢図書

タブレットPCの館内設置につきましては、提案としては出ております

館長

がセキュリティの問題もありますので、あくまでもこれからということで具体的な計画などはございません。

入沢委員

Wi-Fiの設置について、この中で検討される可能性はあるのか。

中村所沢図書

タブレットPCとWi-Fiの件につきましては、情報セキュリティの

館長

問題や市の情報化整備事業計画との関係もありますので、指定管理者ではなく市が主体となって考えるべきものと思っております。こちらについては要望もありますことから、検討はしてまいりたいと考えております。

西沢委員

会議録を見ると、株式会社ヴィアックスはタブレットPCの導入を提案しているが、無線LANの環境がないのにこういう提案をしているという

のは実現可能性に乏しい提案をしているとか、他者の提案についても既に導入されている事業を独自事業として提案しているとか、結構厳しい意見が載っている。自主事業実施計画の点数を見ると、株式会社ヴィアックスの点数と他者の点数では結構な差があるが、この内容からするとどこも同じような甘い見通しに基づいた自主事業の計画なのかなという印象を受けるが、このような大きな点数の開きになった要因は何か。

中村所沢図書館長

タブレットPCや無線LAN以外の独自事業の提案が株式会社ヴィアックスは具体的でありました。また、所沢市図書館ビジョンや子どもの読書活動推進計画、仮称ところざわサクラタウンのことなど、市の計画を読み込んだ上での自主事業の提案だったところが評価されておりました。他者につきましては、残念ながらそういったところがありませんでした。自社のものということでの御提案でしたが、雑誌スポンサー制度など、既に所沢で導入されている事業であったということで点数に差がついたものと考えております。

西沢委員

B社は全国的にシェアが高い会社だが、その提案もそういうような内容であったのか。

中村所沢図書館長

大手の会社であるが故というところがあると思いますが、1つの決まったパッケージという印象を受ける御提案だったことから、私どもの求めて

いる所沢独自のというところが足りなかったと考えております。

小林委員

7つの分館を2グループに分ける理由は、2社の方が民間の持つノウハウの活用に幅ができ、競合により、運営上の向上が図れる可能性があること。万が一、指定管理者の経営状態悪化により担当館の管理運営が困難となった場合、2社間での協力体制による分館運営が期待できること、本館との連絡体系が効率的になることなどが挙げられると参考資料にあるが、結果的に1グループとなったことで競合により運営上の向上が図れる可能性がなくなってしまったし、経営状態悪化により担当館の管理運営が困難となった場合、2者間での協力体制による分館運営も期待できなくなってしまった。仮に、ヴィアックスの経営状態が悪くなった場合は、どうされるのか。

中村所沢図書
館長

まず、競合がなくなったということにつきましては、市内の2社でというよりは、県内や全国的な規模での競合ということも考えられるので、そこに固執することはないのではないかと、他の方法での競争原理をという御意見が選定委員会でありました。それから、経営状態の悪化の件ですが、現時点では公認会計士の委員に経営状況を見ていただき、傾向としても安定しているとの御意見をいただきましたので、1社でも特段問題ないものと考えております。万一の場合ですが、履行補償保険の加入についての御提案もありますので、そういった補償はされるものと考えております。

小林委員

7つの分館を2グループに分ける理由として、万が一、指定管理者の経営状態悪化により担当館の管理運営が困難となった場合、2社間での協力体制による分館運営が期待できるということと、本館との連絡体系が効率的になるということの意味について伺いたい。

中村所沢図書館長

本館との連絡体系が効率的になるということにつきましては、考え方としては連絡網と同じようにイメージしておりました。全体に伝わる時間が短くなり、連絡が効率的に済むのではないかとということでそのように書かせていただきました。それから、2社間での協力体制による分館運営ということですが、1社が経営危機に陥った場合に業務のサポートが可能ということを書かせていただいたものです。

小林委員

保険による補償ということだが、指定管理の期間が過ぎるまで、そのままその人達によって運営されていくという理解でよろしいか。

中村所沢図書館長

経営危機の問題につきましては、そのような状況が懸念される状態になったときに詳細を検討していきたいと考えております。その際、大前提として市民の方へのサービスを低下させないということを念頭に置いて検討していきたいと考えております。

石本委員 追加資料の裏面、4の図書受入数というのは、毎年買っている本の数という理解でよろしいか。

中村所沢図書館長 図書受入数につきましては、寄贈の書籍を含めました図書館への受入冊数ということになります。参考として27年度の購入冊数を申し上げますと2万948冊となります。

石本委員 所沢市の場合は、指定管理者になっても基本的には本館が購入する本をチェックするという認識だが、指定管理者からこういう本を買いたいという話が来て、検討の結果買ったという事例はこの5年間であったか。

中村所沢図書館長 本市の場合には、指定管理導入前から本館が一括購入しております。また、分館からの意見で購入することも行ってございまして、週1回の選定会議までに分館から報告があり、それを会議に諮りまして購入するかしないかを決定いたします。

西沢委員 配付された資料の7累積登録者数について、平成23年度から見ていくと若干の減少傾向にあるが、その理由は何か。

中村所沢図書館長 読書離れが進んでいるというのも、要因であると思います。あと、この数年間につきましては、施設改修による休館期間がありまして、開館日数

自体が少なかったために、それまで継続して図書館に来館していた方や新規の方の来館の機会が減ってしまっていたというのも、1つの原因ではないかと考えております。

西沢委員

図書利用券について、期限はあるのか。

中村所沢図書
館長

5年間利用しないと登録は削除されるようになっております。

西沢委員

5年間だから経年的にはそんなに増減はないのかなという印象だが、23年度と27年度を比較すると約2,000人減っている。やっぱりそれだけ活字離れといった傾向が強いということか。

中村所沢図書
館長

この間東日本大震災などの災害がありましたことから、社会的な要因もあるかと思えます。5年間で抹消ということですので、遡って考えていただきますと、5年前に登録して継続して利用ができていないということになりますので、そういった社会的な要因も1つの減少の原因と思っております。また、高齢化が進み、来館が難しい方がふえてきているというのも原因ではないかと考えております。

植竹委員

高齢化が進み減少傾向ということに伴って、新たに図書の貸し出しに対

してアウトリーチといった点での取り組みを考えているか。

中村所沢図書
館長

現在、地域連携の一環といたしまして、高齢者施設へのおはなし会ですとか、団体の貸し出しというような取り組みを進めております。これは、本館だけではなく全館的にも地域の高齢者施設との連携など取り組んでおりますので、そういったところを今後も考えていきたいと思っております。

植竹委員

開館日数が少なかったことも要因の1つという話だったが、その理由は何か。

中村所沢図書
館長

この3年ぐらいの間に複合施設などでの施設修繕があり、長いと3カ月を超える期間の休館が複数館ありました。そうしたことから、利用数等につきましては下降気味となっておりますが、やや減にとどまっているのは努力が実った結果だとも考えております。

小林委員

レファレンスサービスについて、図書館に寄せられた質問・相談・調査等の利用者からの情報要求に対して、「所沢市立所沢図書館レファレンス業務手引」に基づき、調査・回答を行う。自館資料で回答できない場合は、本館に引継ぎをするとあるが、どれぐらいの件数があるのか。

中村所沢図書館長	レファレンスの件数につきましては、27年度の統計では961件がレファレンスとして登録されておりまして、そのうち所沢分館が70件、椿峰分館47件、狭山ヶ丘分館87件、富岡分館25件、吾妻分館28件、柳瀬分館28件、新所沢分館95件、本館は581件となっております。
小林委員	レファレンスについて、分館に資料がなかった場合には本館や埼玉県立図書館、国立国会図書館ということになるかと思うが、基本的には分館でそういう処理をしていくことができるという理解でよろしいか。
中村所沢図書館長	分館でも機能としては図書館ですので、どこも同じように県立図書館や国立国会図書館に問い合わせが可能であります。
小林委員	自館資料で回答できない場合は、本館に引継ぎをするとあるが、本館に引継ぎをした件数はどれぐらいあるのか。
中村所沢図書館長	引継ぎをした件数ということでは統計をとっておりませんので、本館の件数581件の中に含まれております。
石本委員	図書館の評価の基準というのは、どうなっているのか。
中村所沢図書館	貸出数や利用者数は一番目に見える数字ですので、評価の項目の1つに

館長 なります。また、滞在型図書館という考え方もありますので、入館者数やレファレンスの件数も評価の項目となります。また、利用者の満足というの也被まれると思います。

小林委員 参考資料に、利用者からの要望・苦情対応ということで、「利用者の声」その他利用者からの要望・苦情に対しては、適切に対応し、問題点の解決を図る。ただし、指定管理者単独で解決できない要望・苦情等については、本館と連携をとり、迅速な解決に当たるとあるが、指定管理者単独で解決できない要望・苦情等というのは、件数としてはどれぐらいあるのか。

中村所沢図書館 統計の数値としては集計しておりませんが、回答できないであるとか、要望にお答えできないものということになりますと、施設面での御要望があります。

小林委員 施設面での要望とはどういうことか。

中村所沢図書館 複合施設の温度設定であるとか、段差がある、建物が古いといったことが、苦情・要望となる場合があります。

小林委員 子どもの読書活動推進に関する事業で、司書による学級訪問（ブックトーク）の実施とあるが、どのように行われているのか。

中村所沢図書館長 子どもの読書活動推進につきましては、こちらから年に1回御案内をさせていただきます。あとは、学校からの申し込みに応じて、ブックトークや本の紹介、それから図書館見学の受け入れなどを行っております。

小林委員 各分館で年間どれぐらいあるものなのか。

中村所沢図書館長 図書館見学につきましては昨年度、狭山ヶ丘分館、吾妻分館、柳瀬分館、新所沢分館で受けております。また、職場体験ということで、これについては中学生が多いですが、吾妻分館、狭山ヶ丘分館で実施しております。それと、平成27年度は小学校3年生の86クラス、他学年2クラス、特別支援学級12クラスの合計100クラスでブックトークを行っております。また、学校団体貸し出しにつきましては全館での冊数となりますが、27年度は1万7,182冊貸し出ししております。

小林委員 各分館で対応できないレファレンスが本館に送られてきたり、分館がそれぞれ指定管理ということで、より本館の業務が大変になって重さが増していると思う。そういう中で、本館の司書の資格率を高めていく必要があると思うが、これからどのようにやっていかれるのか。

中村所沢図書
館長

司書資格率につきましては、通常の異動の中で要望していく形になるう
かと思いますが、今年度につきましては図書館経験が長く、また司書資格
を持っている私が所沢図書館長を拝命しましたことを考えますと、そうい
った配慮がなされているものと考えております。

小林委員

本館の職員が選んで年4回モニタリングを行うと思うが、図書館学につ
いて司書の方がわかってらっしゃるというのが基本になると思うし、モニ
タリングそのものをやっていくことについても、司書の資格は非常に大き
な問題になってくると思う。そういったことから考えて、指定管理の期間
中に本館に異動になって司書の資格をとられたという方はいるか。

中村所沢図書
館長

この指定管理の期間に、本館の職員で自主的に司書資格を取得した者は
3名おります。また、モニタリングにつきましても、館内にグループリー
ダーをしているベテランの司書がおりまして、その者を中心にモニタリン
グに当たっておりますので、評価につきましては公正な目で見られている
と考えております。また、業務の中でベテランの職員による経験の浅い職
員の育成ということも考えておりますので、これからスキルアップを図っ
ていきたいと考えております。

小林委員

指定管理の図書館は、全国にどれぐらいあるのか。それと、指定管理制
度から直営に戻したところはいくつあるのか伺いたい。

中村所沢図書館長 指定管理から直営に戻した図書館数は、14館であったと記憶しております。主な理由といたしましては、自治体の合併により管理運営体制が変わったことや経営側の問題で撤退するというようなことでして、指定管理期間満了をもって戻した館が多かったと記憶しております。それから、指定管理者制度導入館につきましては、2015年の調査を基にしたデータでは、市町村図書館3,182館中487館となっております。

荻野委員 7館それぞれ地域性があると思う。各地域で連携や活動をされていると思うが、地域ごとの差について認識されているか。

中村所沢図書館長 館ごとの運営方針にもよると思いますが、大きな分館についてはカバーしている地域も広いので、事業の件数も多くなっております。所沢分館や新所沢分館は、近くのところ荘や緑寿荘、児童館、保育園などの施設があることから、そういったところは地域施設との連携が活発になっております。それ以外に、柳瀬分館などは自然を重視した事業が展開されております。それ以外に、野鳥観察や郷土史研究会といったものを開催しまして、活発に活動しております。

荻野委員 所沢市図書館ビジョンにも地域コミュニティとの連携みたいなことが書かれているが、自治会・町内会や商店街の方が地域の図書館を活用しよ

うという発想はないのかなという気がする。そういった地域の活動を充実させていくため、もっと働きかけていくことについて、館長としてお考えは何かあるか。

中村所沢図書館長 指定管理者に移行しましてから、各分館ともかなり積極的に地域にアプローチをしております、私どもではできなかった商工会議所、商店との連携なども行っておりますことから、今後はそういったところも期待しております。また、KADOKAWAが来るということもありますので、そういったところとの連携についても期待しております。

荻野委員 図書館ビジョンの中に市内の大学との連携も書かれているが、具体的な事例は何かあるか。

中村所沢図書館長 日本大学の学生の手品のサークルと連携して事業を行ったり、あとは講師として秋草学園短期大学の先生をお呼びし、講演会、研究会などを開催している事例があります。

石原委員 先ほど100万冊の蔵書を目指しているとの答弁があったが、蔵書の管理方法について、従来のバーコードによる管理から何か新しい可能性について議論があったのか伺いたい。

中村所沢図書
館長 管理方法といたしましては、現在はバーコードの貼付による管理をしておりますが、先々におきましてはやはり時代の流れといったこともあり、I C タグの導入を検討していきたいと考えております。

石原委員 I C タグとは具体的にはどのような方法か。

中村所沢図書
館長 I C タグは一部所沢分館の視聴覚資料にも導入をしております、I C タグを付け、ゲートを設置しますとブックディテクションシステムによる図書盗難防止が可能になります。また、本が書架にある状態のまま蔵書点検ができるということで効率化が図れますことから、先々は導入したいと考えております。

【質疑終結】

【意見】

大石委員 賛成意見を申し上げます。図書館分館に指定管理者制度が導入されて、市民サービスが向上したと実感しております。地元の方が講師となって地域の歴史をお話する講演会など、指定管理になって非常にふえ、地域との連携が進んできた実感しております。今後はさらに、高齢者の居場所づくりとして、それからいじめられた子ども達が避難できるような大切な場所であるといったことも期待しておりますし、所沢市にある大学との連携、商工会議所、地元商店街との連携を今後とも進めていただくとともに、映写室などでも市民の皆様と一緒に映写会を開催するといったこと

を期待しまして、賛成といたします。

小林委員

日本共産党所沢市議団を代表して反対の立場から意見を申し上げます。

全国に3,182ある図書館の中で、指定管理になっているのは487件という答弁がありました。全国的にも見ても、15%ぐらいしか指定管理になっていないということと、指定管理から直営に戻したところが14件あるという答弁もありました。そういう中で、図書館というのは歴史や文化など地域の知的財産を保存して、将来にわたって提供する施設であり、長期的視野に立った継続的、安定的な運営が必要であります。無料が原則の公立図書館に、利益を生み出さなければならない株式会社が受託する指定管理者制度というのはなじまないため、反対いたします。

石原委員

自由民主党・無所属の会を代表して、賛成の立場から意見を申し上げます。現状、4年前に導入した指定管理者の効果があらわれているとともに、市民の方、利用者の方の評価も高いことに加え、今後図書購入費の確保も見込まれること、そして今回は2グループ1社の指定ということで2グループ間での協力体制のメリットにより、さらなるサービスの向上に期待が持てること、今後市として図書館のIT環境の推進をしていく場合、指定管理者も協力される考えがあるとのことで期待することから賛成いたします。

【意見終結】

【採 決】

議案第 87 号については、挙手多数により、可決すべきものと決する。

議案第 88 号については、挙手多数により、可決すべきものと決する。

○議案第74号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第3号）」

当委員会所管部分（教育委員会）

【補足説明】なし

【質 疑】

西沢委員

議案質疑では、平成32年度から5年生の英語が評価の対象になるという説明だったが、今回の研修はその辺の評価のあり方にも踏み込んだ研修になるのか。

米澤教育センター
所長

小学校では平成32年度より、中学校では平成33年度から学習指導要領が改訂となります。今回の研修につきましては、評価を含めて進めてまいる予定であります。

【議案第74号 教育委員会所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

散 会（午前11時50分）